

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員に対して十分なスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			指定基準に加配をおこない配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		入り口の段差、トイレの広さが車椅子だと困難。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日のミーティング等を利用し、目標・振り返りが出来る様に場を設けている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年1回行い、保護者様のニーズに繋がられるようにしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて掲載。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部内部研修へ取り組み、各事業所で伝達をするようにしている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ニーズ、課題を整理して計画を立てている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人内で標準化されたツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			それぞれの分野に分けて立案するようにしている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子ども達が飽きないように様々な活動を提案し取り組んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			学校の宿題を取組つつ、個々に合わせて進めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			それぞれの特性に合わせて取り組みを考えている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			必ずミーティングを行いその日の確認をするようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			必ず終礼を行い皆で情報共有をするようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個々の行動観察やその日の日誌へ必ず記録をするようにしている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度行い、その時の状況に合わせて作成している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			複数の基本活動を取り入れている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			毎回、管理者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			利用表や連絡ノート、引き渡し時に保護者と情報共有している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		これまで医療的ケアが必要な児童がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			利用開始前に連絡を取り、様子や支援方法、注意事項等の伝達をしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談事業所を中心として情報提供をしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修のお知らせを送付して頂いており、参加するようにしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			児童館利用が多くあり、セス以外の児童との交流機会がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			管理者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノート、引き渡し時、電話等で様々な情報共有を行うようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		助言程度の支援を行うにとどまっている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に少し時間を掛けて行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			特別に時間を設けると言うよりは日々の関わりの中で会話を多くもち、その都度支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在保護者会を行っていない

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付、解決責任者の配置をしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動内容等を定期的に配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報は支援員室内にて保管。支援員には遵守させている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			なるべく顔と顔を合わせて行き違いがないように話すようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域の行事に参加する事は多い。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			文章にして配布している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			半年に一回は必ず行うようにしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部研修等へ参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		これまでに身体拘束を必要とする児童がいないが、そのような場合には行う様にする。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師からの指示書はないが、保護者から詳しい情報提供をしていただいている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			各事業所で作成した物は安全衛生委員会にて法人全体で共有できるようにしている。